

みんなで助け合い、末永く住み続けられる津内町1丁目をめざして

「津内町1丁目壮年地域支え合い推進委員会」は、町内の団体として、男性21人、女性5人の計26人で活動しています。

活動の目的は、皆さんが、住み慣れた津内町1丁目ですなかりを保ちながら、できるだけ自分らしい生活が続けられるように、生活上のちょっとした困りごとを手助けすることです。

活動を通じて、手助けする側、される側の関係だけでなく、「ありがたい感謝の気持ち」や「喜んでくれてうれしい気持ち」が交わり、つながり、みんなで津内町1丁目を良くしようという気持ちが町内にあふれています。

津内町1丁目は現在、婦人会がなくなり、老人会と壮年会の兼任者が多いです。各会の人員不足の問題は、少なからずどの町内でもあることだと思います。

これからの目標は、この「支え合い推進委員会」の活動者を多世代にわたって増やし、みんなが年を重ねても安心して「住み続けたい!」と思うまちづくりができればいいな、と思っています。

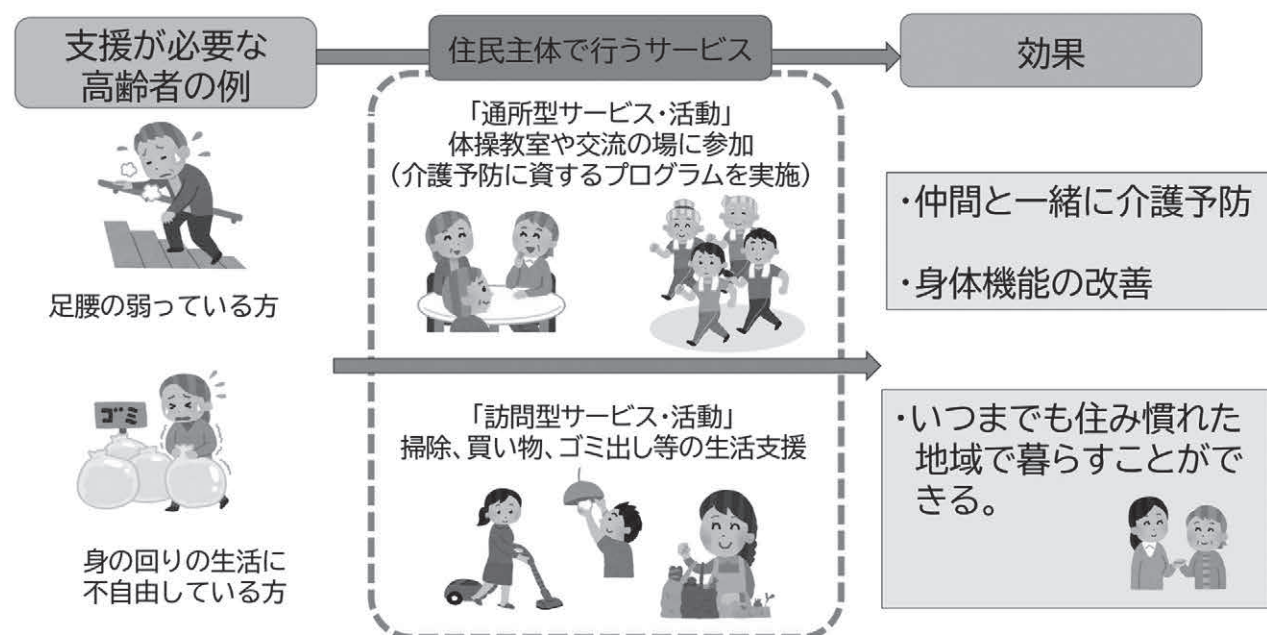


会長 まきたしんじ 横田信二さん

地域から生まれた支え合い活動に対し、補助します

地域住民やボランティア団体などが主となり、通いの場を設けたり、生活支援を行ったりする「住民主体型サービス」の立ち上げに要する経費や活動にかかる経費を敦賀市が補助します。

住民主体で実施する活動の効果



補助要件・内容・経費など、詳細につきましては、
長寿健康課にお問い合わせください。

問い合わせ先 長寿健康課 ☎ 22-8181



誰もが安心して住み続けたいくなるまち つるが ～みんなで“支え”“支えられる”地域づくり～



敦賀市では、年代や障がいの有無に関わらず、全ての人が地域や暮らしの中で役割を持ち、支え・支えられる関係を共につくる「地域共生」のまちづくりを目指しています。

住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、地域でのちょっとした“助け合い、支え合い”が大切です。今回は、町内壮年会の有志が取り組む“津内町1丁目支え合い活動”についてご紹介します!

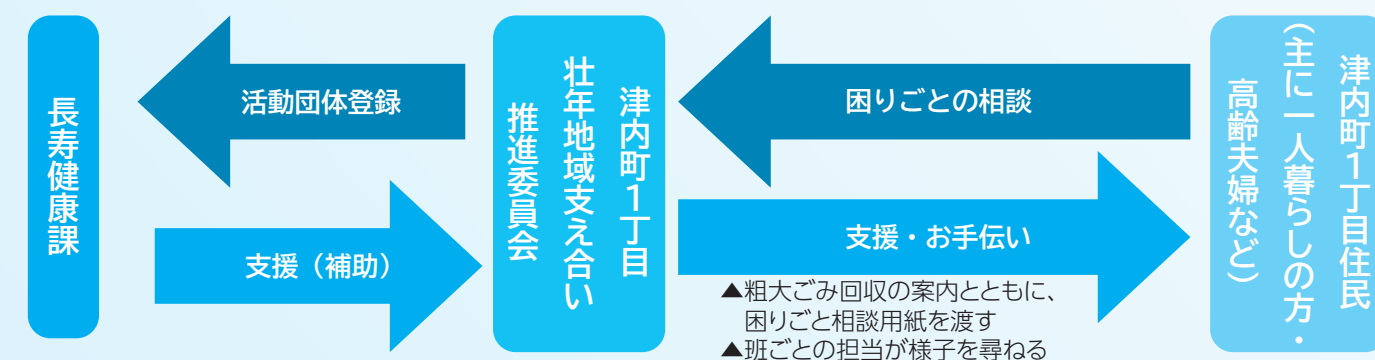
「西地区 支え合いを考える会」がきっかけに

津内町1丁目壮年地域支え合い推進委員会が、活動を開始したのは、令和3年9月。

市主催の「西地区 支え合いを考える会」に参加された壮年会の会長が、地域での支え合いの大切さを強く感じ、会長の提案に賛同された有志が支え合い活動を立ち上げました。

現在、主に65歳以上の高齢者の方を対象に年4回の「粗大ごみ」の回収や、活動の中から聴き取った「生活上の困りごと」に丁寧に対応しています。

困りごと相談を受け、対応する仕組みづくり



生活支援の様子

